

# 富山県地域交通戦略の策定に向けたその他の検討事項

## 目標値の設定について

## 戦略の目標

※R4.11.17全体会議で了承

<目標1> 県民一人当たりの地域交通利用回数 目標値：50回/年

- ・地域交通サービスの最適化を通じた県民の利用機会の増加を目指す。

<目標2> ガソリン車の台数 →P.4へ

- ・カーボンニュートラルを推進するため、地域交通の利用を促進し、ガソリン車の台数の削減を目指す。

<目標3> 地域交通への満足度 →P.5へ

- ・県政世論調査を通じて県民の満足度を把握し、ウェルビーイングの向上を目指す。

## 計画の基本的な方針・考え方

※R4.9.1全体会議で了承

- ・カーボンニュートラル等の社会からの要請に応え、ウェルビーイングの向上をもたらす最適な地域交通サービスの実現を目指す。

＜ウェルビーイングの向上をもたらす最適な地域交通サービス＞

1. 誰もが利用でき、使いやすく便利で安全快適に移動できる。
2. これまで以上に社会と関わりをもち、生き生きと暮らせるようになる。
3. 日々の生活の中でお得感、満足感、新しい発見を得られる。

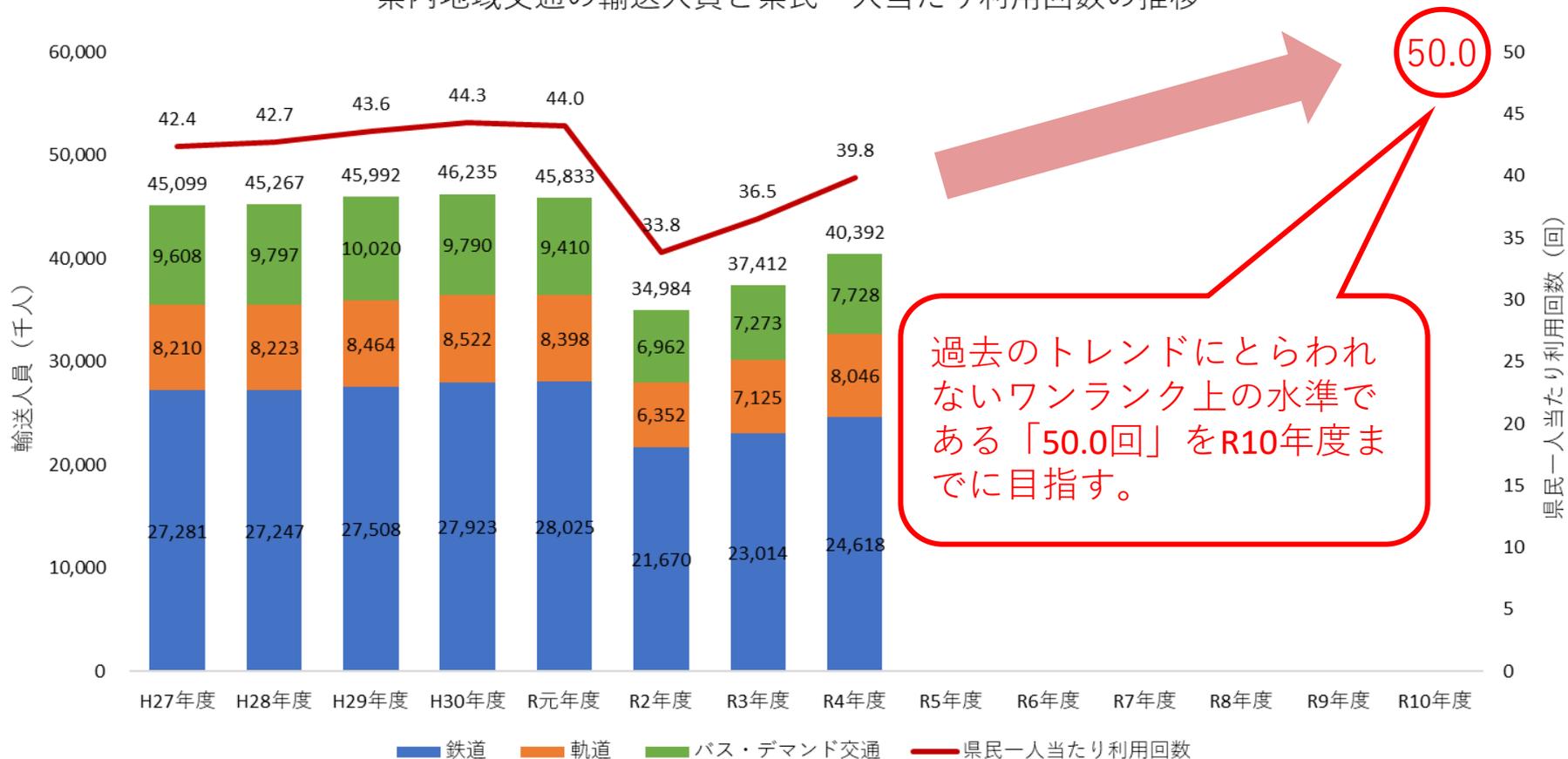
- ・自治体や地域住民の積極的関与・参画、事業者間の協調など、関係者間の役割分担・責任分担について考え、地域全体で実現を目指す。

# <目標1> 県民一人当たりの地域交通利用回数

※R4.11.17全体会議で了承

- 地域交通サービスの最適化を通じた県民の利用機会の増加を目指す。
- 県民一人当たりの地域交通利用回数について、近年の利用状況のワンランク上となる水準（50.0回）を目標値として設定。

県内地域交通の輸送人員と県民一人当たり利用回数の推移



過去のトレンドにとらわれないワンランク上の水準である「50.0回」をR10年度までに目指す。

(出典)

- 鉄道、軌道 …北陸信越運輸局提供データより（北陸新幹線、黒部峡谷鉄道を除く県内の鉄道、軌道の輸送人員）
- バス・デマンド交通 …富山運輸支局提供データより（立山黒部貫光を除く県内の一般乗合旅客自動車運送事業、自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）の輸送人員）
- 人口 …富山県人口移動調査結果（各年度10月1日時点）

## <目標2> ガソリン車の台数

○カーボンニュートラルを推進するため、地域交通の利用を促進し、ガソリン車※の台数の削減を目指す。

○目標値については、昨年度策定した富山県カーボンニュートラル戦略と整合を図り、数値を設定。

※電動車（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車）以外の車

| 車種               | 基準        | 現況                      | 目標                                 |                   |
|------------------|-----------|-------------------------|------------------------------------|-------------------|
|                  | H25年度     | R元年度<br>(H25年度比)        | R10年度<br>(H25年度比)                  | R12年度<br>(H25年度比) |
| ガソリン車            | 835,560 台 | ▲ 46,232 台              | 【カーボンニュートラル戦略の目標】<br>▲ 29万 台       |                   |
| 乗合・乗用<br>(自家用含む) | 661,569 台 | ▲ 36,696 台<br>(▲ 5.5 %) | 【地域交通戦略の目標】<br>▲ 20万 台<br>(▲ 30 %) |                   |
| 貨物・特種            | 173,991 台 | ▲ 9,536 台               |                                    |                   |

(出典)

(一財) 自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数(月報)」

※登録車はガソリン車・軽油車・LPG車の台数、軽自動車は燃料に依らない全台数

※N年度の台数は年度当初(N年3月末)の台数

## <目標3>地域交通への満足度

- 県民の満足度の改善を図り、ウェルビーイングの向上を目指す。
- 今年度実施した県政世論調査の結果をもとに、目標値として以下の数値を設定。

<目標1> 県民一人当たりの地域交通利用回数において、目標値が50回（R4年度比25%増）であることと整合を図る。

- ① 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、便利で使いやすい、安全快適に移動できると感じたことはありますか。

1.25倍

はい、どちらかと言えばはい

いいえ、どちらかと言えばいいえ、  
利用しないのでわからない、無回答

はい、どちらかと言えばはい  
38.9%

いいえ、どちらかと言えばいいえ、  
利用しないのでわからない、無回答

- ② 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、自分の住む地域や人との関わりあいがあった、暮らしの中で生きがいをもてたと感じたことはありますか。

1.25倍

はい、どちらか  
と言えばはい

いいえ、どちらかと言えばいいえ、  
利用しないのでわからない、無回答

はい、どちらか  
と言えばはい  
17.3%

いいえ、どちらかと言えばいいえ、  
利用しないのでわからない、無回答

- ③ 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、お得に出かけることができた、健康や環境などにいいことができたと感じたことはありますか。

1.25倍

はい、どちらかと言え  
ばはい

いいえ、どちらかと言えばいいえ、  
利用しないのでわからない、無回答

はい、どちらかと言え  
ばはい  
23.0%

いいえ、どちらかと言えばいいえ、  
利用しないのでわからない、無回答

**富山県地域交通戦略の策定に向けたその他の検討事項**

**計画策定後の進捗管理等について**

# 計画の進捗状況のモニタリング

- 計画の進捗状況を確認するため、計画の目標や各施策の実施状況について、計画策定後も継続的にモニタリングする。
- モニタリングの精度の向上等を図るため、地域交通に関するデータ連携基盤の構築等にも取り組む。（資料3 P.13）
- 計画の進捗等により、地域交通サービスが地域の観光や商業、福祉、子育て、教育等、様々な分野に幅広く影響を与え、ウェルビーイングの向上をもたらしている効果などについて、県民等関係者への発信・共有を図るなど、「投資」「参画」の意義の普及啓発や機運醸成につなげる。

## 戦略の目標

### <目標1> 県民一人当たりの地域交通利用回数 50回/年

- ・ 地域交通サービスの最適化を通じた県民の利用機会の増加を目指す。

### <目標2> ガソリン車の台数 ▲20万台

- ・ カーボンニュートラルを推進するため、地域交通の利用を促進し、ガソリン車の台数の削減を目指す。

### <目標3> 地域交通への満足度 1.25倍

- ・ 県政世論調査を通じて県民の満足度を把握し、ウェルビーイングの向上を目指す。

## (参考) 地域交通に関するデータ連携基盤の構築

- 各交通機関が保有するデータや、とやまロケーションシステム等の各種データを連携させることで、地域交通の動向を把握できるデータ連携基盤を構築するなど、計画に基づく取組みの進捗・効果等についてのモニタリング体制を整備する。
- データ連携基盤やその活用ノウハウ等を関係者間で共有・オープン化し、各地域におけるサービスの改善に向けたデータ分析・検討や、関係者間で連携・協働したルートやダイヤ等の見直しを促す。



**富山県地域交通戦略の策定に向けたその他の検討事項**

**今後のスケジュールについて**

## 今後のスケジュール（予定）

- 本日の会議の議論等を踏まえた地域交通戦略の素案をパブリックコメントにかけ、広く県民に共有して意見を求めていく。
- 本日の会議やパブリックコメントでいただく意見をもとに、必要に応じブラッシュアップを図り、最終案を整理して、次回の全体会議で確認する。

12月25日  
(本日)

第6回富山県地域交通戦略会議 …地域交通戦略（素案）について議論

素案  
とりまとめ後  
すみやかに

パブリックコメント …素案を県民に共有して、意見を募る

年度内

第7回富山県地域交通戦略会議 …地域交通戦略（最終案）の確認  
【計画策定完了】